

## 7. 国際医療福祉大学ワークショップ

### 実施概要

項目	内容
日時	令和4年10月1日(土) 13:30~16:00
場所	国際医療福祉大学 成田キャンパス WA棟2階TBL室
参加者	14名(日本人学生6名、外国人留学生8名)
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画「NARITAみらいプラン」第3期基本計画の策定にあたり、国際医療福祉大学の学生を対象に、若い世代の目線・立場から、本市のまちづくりに対する意見や要望を取り入れること</li> <li>本市においても、少子高齢化に伴う人口減少問題を克服するため、本市の未来を担う若者に選ばれるまちづくりを進めていく必要があることから、大学入学・卒業、就職、結婚、出産など、ライフステージの変化が多い大学生世代の若者を対象に、本市への定住促進やまちのにぎわい創出に関する考え方やアイデアを話し合うワークショップ及び学生から本市への政策提言を実施し、本市職員と若者で意見交換を行うこと</li> </ul>

### 当日のプログラム

#### 成田市の概要説明

- 本市の現状や強み・弱み、本市の取組みに関する説明を実施し、参加者の本市に対する理解の促進を図った(本市の位置・人口、成田山新勝寺や成田空港等の特徴、歴史、成田空港の機能強化、国福大成田病院の開院 など)

#### グループワーク①

- 「若者にえられるまちとは？」というテーマでグループワークを実施した
- 各グループで「若者が住みたくなるまち」、「若者が訪れたくなるまち」、「若者が働きたくなるまち」、「若者が子育てしたくなるまち」の4つのテーマで検討した

#### グループワーク②

- グループワーク①の4つのテーマから、特に本市が力を入れたほうが良いテーマを1つ選択し、具体的な取組みを検討した(成田市への政策提言)

#### 発表・総評

- 各グループからグループワーク②で検討した内容の発表を行った

### グループワーク①の結果 「若者にえられるまちとは？」

<Aグループ>

- 外国人留学生で構成されたグループ
- 若い外国人が考える「若者に選ばれるまち」について意見を出し合い、生まれ故郷である母国で若者に人気のあるスポットを例示し意見交換を行った

#### 若者が住みたくなるまち

- 街灯が多く、夜でもまちを歩きやすい
- 自転車シェアリングがある
- まちに多様な言語標記がある
- 輸入するときの関税が低い
- 娯楽施設が多い

#### 若者が働きたくなるまち

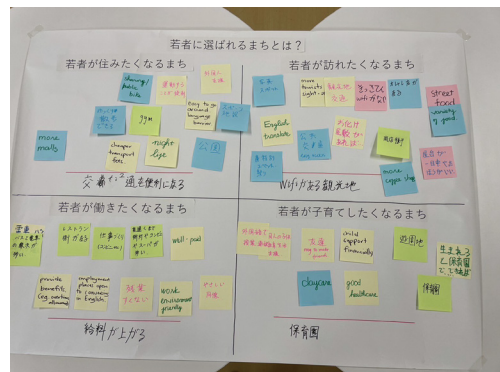
- レストラン街がある
- 夜遅くまで営業しているスーパーやコンビニが多い
- 給与が高い
- 残業が少ない
- 公共交通機関が夜遅くまで運行している

#### 若者が訪れたくなるまち

- どこにいてもWi-Fiがつかえる
- 屋台や露店が道にあり、食べ歩きできる
- インスタ映えする有名スポットがある
- 英語が喋れるひとが多い(通訳がいる)
- 公共交通機関が充実している

#### 若者が子育てしたくなるまち

- 外国人の親同士が仲良くなれる
- 外国語で授業をする学校がある
- 保育園が多い
- 安心して遊ばせられる遊園地などがある
- 祖父母が育児に参加できる環境がある



## グループワーク①の結果 「若者にえらばれるまちとは？」

- <Bグループ>
- ・日本人学生と外国人留学生で構成されたグループ
  - ・成田市と他市の比較や、これまでの経験をもとに意見交換を行った

### 若者が住みたくなるまち

- ・家賃が安い
- ・遅くまでやっているサウナがある
- ・UberEatsの加盟店が多い
- ・駅の近くに映画館がある
- ・公共交通機関が充実している
- ・プロサッカーチームがある

### 若者が働きたくなるまち

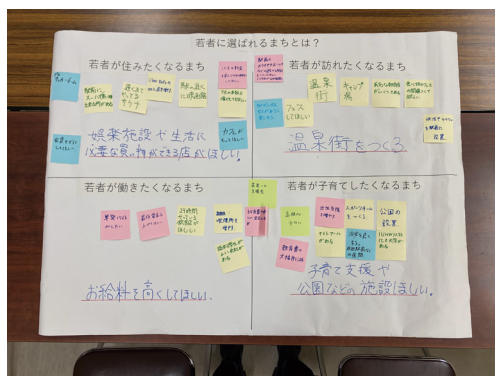
- ・給与が高い
- ・喫煙所が多い
- ・24時間やっている飲食店が多い
- ・福利厚生がよい会社が多い

### 若者が訪れたくなるまち

- ・音楽やグルメのフェスが開催される
- ・温泉街がある
- ・有名な飲食店がある
- ・駅前に娯楽施設がある

### 若者が子育てしたくなるまち

- ・教育機関が多い
- ・教育費の支出額が高い
- ・公園が多い
- ・駅前の治安が良い
- ・ナイトプールがある



## グループワーク②の結果及び発表 「成田市への政策提言」

<Aグループ>

項目	内容
テーマ	若者が訪れたくなるまちとは？
提言内容	若者が訪れたくなるまちとなるため、様々な観光地が必要であり、成田山新勝寺以外の観光地を作る必要がある。
発表概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップでは4つのテーマについて話し合ったが、外国人留学生チームということもあり、観光に力をいれることで若い世代の外国人がたくさん訪れ、住みたいまちとなると考えた。</li> <li>・成田市といえば何かを話し合った際に、成田空港と成田山新勝寺以外に目玉となる観光地がないという意見が出た。外国人はSNSで家族や友人といるいろいろなことを共有しているので観光地が市内に沢山あれば若い外国人が集まるまちとなり、私たち留学生も住みたいまちとなると思う。</li> <li>・成田市に住んでいると観光地であってもWi-Fiが通じない場所がよくあるので、通信環境を整えるべきと考える。</li> </ul>

<Bグループ>

項目	内容
テーマ	若者が住みたくなるまちとは？
提言内容	若者が住みたくなるまちとなるため、娯楽施設や生活に必要な買い物ができる場所を駅前に整備する必要がある。
発表概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅する時、夕飯に必要な食材を買って帰ろうとする際に、成田駅の周辺にスーパーが無いため不便を感じるがよくある。</li> <li>・一人暮らしの学生は自炊のためにスーパーへ行くし、実家から通う学生も総菜などで済ませることもあるので成田駅にスーパーがあれば住みたいまちになると思う。</li> <li>・友人と遊ぶ際にはよく成田駅集合にすることがあるのだが、若者がよく行くボーリング場や映画館、長時間遊べるカラオケやネットカフェなどもあまりないため、駅前に娯楽施設が増えると若者に魅力あるまちになり、住みたいと思う若者が増えると思う。</li> </ul>

## 8. 空港事業者ワークショップ

### 実施概要

項目	内容
日時	令和4年12月15日(木) 16:00~18:00
場所	成田市文化芸術センター(3階 なごみの米屋スカイタウンホール)
参加者	18名(日本航空株式会社4名、全日本空輸株式会社7名、成田国際空港株式会社7名)
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画「NARITAみらいプラン」第3期基本計画の策定にあたり、次世代を担う若者や子育て世代が「住みたい」「住み続けたい」と思えるような魅力的なまちづくりを推進していくため、本市の基幹産業である空港関連企業に勤務している若い世代の従業員を対象に本市のまちづくりに対する意見や要望を取り入れること</li> <li>空港で従事している職員が業種や職種の垣根を越えて交わることで生まれる本市への定住促進やまちのにぎわい創出に関する考え方やアイデアを聴取すること</li> </ul>

### 当日のプログラム

#### 成田市の概要説明

- 本市の現状や強み・弱み、本市の取組みに関する説明を実施し、参加者の本市に対する理解の促進を図った(本市の位置・人口、成田山新勝寺や成田空港等の特徴、歴史、成田空港の機能強化、国福大成田病院の開院 など)

#### グループワーク

- 「若者・子育て世代に魅力あるまち」とはどのようなまちなのか、というテーマでグループワークを実施した
- グループワークでは、上記テーマに関する意見・アイデアを抽出した
- 本市職員が各グループのファシリテーターとして参加した

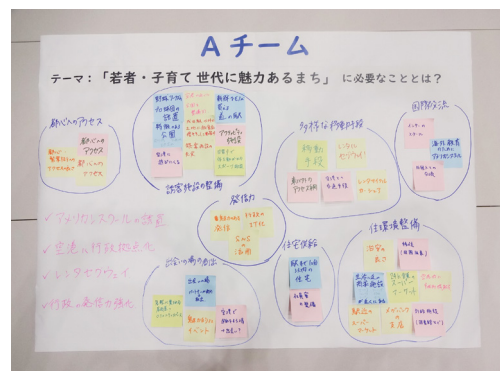
#### 発表・総評

- 各グループからグループワークで検討した内容の発表を行った

### グループワークの結果 「若者・子育て世代に魅力あるまち」に必要なことは？

<Aグループ>

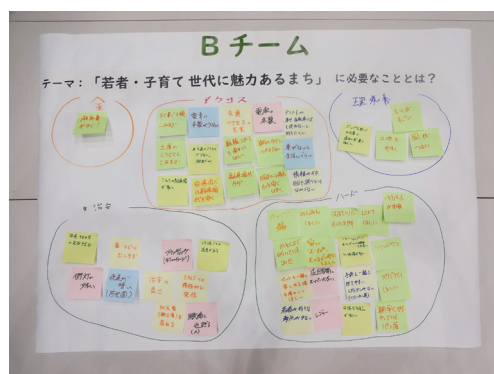
主なアイデア・意見	共通テーマ
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロ野球球団の設置</li> <li>空港の近くに公園が整備されている</li> <li>新鮮な農水産物が買える道の駅がある</li> <li>特徴のある公園が充実している</li> <li>成田駅以外の場所に飲食店を増やす</li> <li>アクティビティ施設が充実している</li> </ul>	誘客施設の整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>移動手段が充実している</li> <li>レンタルカーシェア、セグウェイがある</li> <li>車以外のアクセス網</li> <li>空港との交通手段が充実している</li> </ul>	多様な移動手段
<ul style="list-style-type: none"> <li>インターナショナルスクールがある</li> <li>海外教育のためのアメリカンスクールがある</li> <li>外国人との交流</li> </ul>	国際交流
<ul style="list-style-type: none"> <li>治安が良い</li> <li>生活拠点の近くに商業施設がある</li> <li>24時間営業のスーパーマーケットがある</li> <li>空港内に市役所機能がある</li> <li>駅の近くにスーパーがある</li> </ul>	住環境整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>10分以内の住宅が多い</li> <li>社員寮の整備</li> </ul>	住宅供給
<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力のある発信</li> <li>SNSを活用したPR</li> </ul>	発信力
<ul style="list-style-type: none"> <li>気軽に集まれる居酒屋が充実している</li> <li>コミュニティスペースがある</li> <li>空港内に運動する場所がある</li> </ul>	出会いの場



## グループワークの結果 「若者・子育て世代に魅力あるまち」に必要なこととは？

<Bグループ>

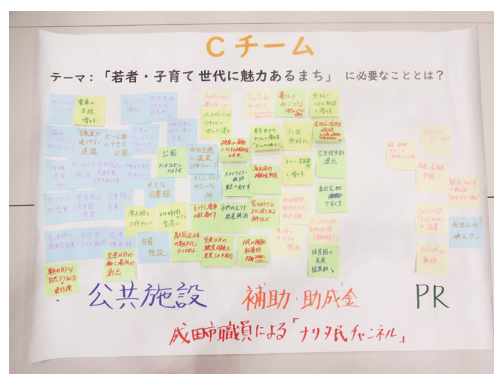
主なアイデア・意見	共通テーマ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育費が安い</li> </ul>	お金
<ul style="list-style-type: none"> <li>・51号線の混雑緩和される</li> <li>・電車の本数が多い</li> <li>・交通アクセスが充実している</li> <li>・土屋の交差点の混雑が緩和される</li> <li>・駐輪スペースが充実している</li> <li>・空港近くの駐車場が安い</li> </ul>	交通アクセス
<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯が多い</li> <li>・夜も道が明るい</li> </ul>	治安
<ul style="list-style-type: none"> <li>・娯楽施設が沢山ある（キャンプ場、スポーツバーなど）</li> <li>・ペットも一緒に楽しめる場が沢山ある</li> <li>・子どもと一緒に楽しめる場所が多い</li> <li>・若者が集う場所が多い</li> <li>・成田駅前にスーパーが充実している</li> </ul>	ハード事業



## グループワークの結果 「若者・子育て世代に魅力あるまち」に必要なこととは？

<Cグループ>

主なアイデア・意見	共通テーマ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セントラルパークのような施設がある</li> <li>・成田市場を生かした空港内ショップがある</li> <li>・成田空港が千歳空港のように食が充実している</li> <li>・空港周辺に保育園を整備する</li> <li>・空港内に居酒屋が充実している</li> <li>・テレワークできる施設が整備されている</li> <li>・大きな図書館や自習施設が充実している</li> <li>・空港以外の働く場所が沢山ある</li> <li>・駅周辺が魅力的でデートスポットとなっている</li> </ul>	施設整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康や運動に対して補助金が出る</li> <li>・ゴミ袋が無料</li> <li>・海外旅行に対する補助金制度がある</li> <li>・住宅新築時に支給される補助がある</li> </ul>	補助・助成金
<ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTubeチャンネルを開設する</li> <li>・食品・飲料メーカーとコラボして市をPRする</li> <li>・成田山の映え化</li> <li>・観光スポットの新設（成田タワーなど）</li> </ul>	PR



## 9. 職員ワークショップ

### 実施概要

項目	内容
日時	令和5年4月27日(木) 14:00~17:00
場所	成田市役所 大会議室(本庁舎6階)
参加者	26名(成田市職員)
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・全庁的に取り組む必要がある課題であるカーボンニュートラルや環境配慮に関する職員の知識や考えを深めること</li><li>・総合計画「NARITAみらいプラン」第3期基本計画の策定にあたり、総合計画における「基本方向」の単位で本市として取り組むカーボンニュートラルや環境配慮の取組みを整理すること</li></ul>

### 当日のプログラム

#### カーボンニュートラルの概要説明

- ・カーボンニュートラルの概要や取り組む背景、CO2を削減する取組み例等を説明し、知識の醸成を図った
- ・また、本市の環境分野の主管課である環境計画課より、本市のこれまでの取組みを説明した

#### 個人ワーク グループワーク

- ・成田市総合計画「NARITAみらいプラン」の基本構想の「基本方向(6つ)」の単位で人物像を設定し、人物像の1日の生活を想像してCO2を排出する場面を検討した
- ・また、CO2を排出する場面に対する改善策を自助・共助、公助の視点から検討した

#### 発表・総評

- ・各グループからグループワークで検討した内容の発表を行った

### 基本方向ごとの人物像の設定

#### 基本方向

#### 人物像と議題

##### 第1節

安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる  
(住環境)

- ・設定：父(32歳/会社員)・母(31歳/専業主婦)・子(3歳/幼稚園児)の3人家族
- ・議題：休日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

##### 第2節

健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる  
(保健・医療・福祉)

- ・設定：健康を気遣う働き世代の男性会社員(42歳)
- ・議題：平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

##### 第3節

地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む  
(教育・文化)

- ・設定：父(40歳/会社員)・母(40歳/会社員)・子(8歳/小学生、5歳/保育園児)の4人家族
- ・議題：平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

##### 第4節

空港の機能を最大限に生かし、  
魅力的な活気あふれる都市をつくる(空港・都市基盤)

- ・設定：成田空港で働く男性(45歳)  
(手続きカウンターのエリアや入居テナント等を巡回し、管理する職種)
- ・議題：平日の1日を想像し、空港内のどのような場面でCO2を排出しているか？

##### 第5節

活力ある産業を育て、  
にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

- ・設定：農業従事者(男性/50歳)とサービス業従事者(女性/50歳)
- ・議題：それぞれの平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

##### 第6節

市民サービスを充実させ、  
持続可能な自治体経営を行う(自治体経営)

- ・設定：自分が所属する部署の部長
- ・議題：部内の職員の業務のどのような場面でCO2を排出しているとみているか？

## グループワークの結果

## &lt;基本方向 第1節&gt;安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）

**人物像と議題** ・設定：父（32歳/会社員）・母（31歳/専業主婦）・子（3歳/幼稚園児）の3人家族  
 ・議題：休日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
・エアコンをつけたまま、ドアや窓を開けばなしにしている	・開けたら閉めるという意識をしっかり持つ ・出かける前に一度確認する	・エアコンのスイッチと連動するドアの開閉システムへの助成 ・スマート家電の利便性を説明する市とメーカー共同の資料の作成・配布
・照明・エアコンのつけっぱなしが多い	・エアコンをつけている時は、窓やドアを閉める ・スマート家電を活用する	・月々の使用量が少ない程、日常で使えるポイントを付与 ・エコ家電の購入補助
・食材を買いすぎて余らせてしまう	・買い物に行く前に1週間のメニューを考えてから行く ・適量を買う	・市のCookpad等のアプリの活用 ・フードバンクの設立 ・余りそうな食材のこども食堂への提供
・近所の公園に車で行く	・EV車やハイブリッド、燃費の良い車を使用する ・歩きや自転車で移動する	・エコ自動車購入補助 ・公共施設等にEV急速充電設置 ・自転車を購入する補助金 ・ウォーキングアプリを作り、歩数をお金やポイント等に換算
・お昼に出来合いのものを買い、たくさんのゴミを出す	・自炊をする ・出来合いのものを買うとしても、大皿のものを買って取り分けてゴミを少なくする	・リサイクル資源を持ち込んだ市民にポイントを付与する制度の新設
・買い物の度にレジ袋をもらう	・エコバッグを使う ・車の中などにエコバッグを入れておく（忘れない工夫）	・汚れにくく洗えるエコバッグを市で作成し配布

## グループワークの結果

## &lt;基本方向 第2節&gt;健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）

**人物像と議題** ・設定：健康を気遣う働き世代の男性会社員（42歳）  
 ・議題：平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
・通勤は車を利用する	・バスや自転車を利用する ・職場の近所に住む、引っ越す ・在宅勤務を行う	・公共交通網の整備 ・渋滞の緩和、道路の整備 ・省エネ車の導入補助
・ペットボトル飲料を購入する	・マイボトルを持参する	・マイボトルで飲み物を購入した際の助成 ・紙の容器等での製造の推奨
・昼食で弁当を購入する	・社食を利用する ・自炊をする	・食堂の整備 ・料理教室講座の開催
・ネットショッピングを頻繁に行う	・本当に必要か考えてから買う ・リサイクル品などがなくないか調べる	・リサイクルプラザを利用しやすくPR
・不要なものはすぐに捨てる	・買う時点で本当に必要か考える ・友人や親戚などのもらい手を探す ・インターネットやリサイクルショップ等で売る	・不要品（家具、自転車）などを修理して市で再販する仕組みの構築

## グループワークの結果

### <基本方向 第3節>地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

#### 人物像と議題

- ・設定：父（40歳/会社員）・母（40歳/会社員）・子（8歳/小学生、5歳/保育園児）の4人家族
- ・議題：平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
・学校で紙資料がたくさん配布される	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙資料は必要最小限とする</li> <li>・なるべく1枚にまとめてムダをなくす</li> <li>・タブレット等の電子媒体を活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの活用の推奨</li> <li>・ペーパーレスの啓発</li> </ul>
・トイレの電気を消し忘れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はり紙をする</li> <li>・一人ひとりの意識を高める</li> <li>・スマートホーム化に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電の補助金</li> <li>・スマートホーム化の補助金</li> </ul>
・カーテンを閉めたままで照明にたよる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然光など、代用できるものを活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康習慣づくりの支援の推進</li> </ul>
・車で保育園の送迎を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動自転車を利用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動自転車の購入補助</li> <li>・保育園の立地の見直し</li> </ul>
・食事を残す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初から多くもらわず、おかわり方式にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードロス活動の取組企業を支援</li> <li>・学校での食育の取組推進</li> <li>・生ゴミ処理機の導入に係る補助制度の新設</li> </ul>
・残業している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の効率化に取り組む</li> <li>・業務の効率化について考える時間を設ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム等の業務効率化につながる設備の導入支援</li> <li>・効率仕事例を紹介</li> </ul>

## グループワークの結果

### <基本方向 第4節>空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）

#### 人物像と議題

- ・設定：成田空港で働く男性（45歳）（手続きカウンターのエリアや入居テナント等を巡回し、管理する職種）
- ・議題：平日の1日を想像し、空港内のどのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
・早朝から照明・空調を使用している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明の一部消灯</li> <li>・服装の見直し（クールビズ・ウォームビズ）</li> <li>・利用者への協力の呼びかけ</li> <li>・窓を設け、自然光等を取り入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄電力のシェア</li> </ul>
・機内に持ち込めない荷物の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に持ち込み可否を確認する</li> <li>・問い合わせ窓口の明確化</li> <li>・航空会社の決まり等を共有、発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市HPや施設に案内を掲載</li> </ul>
・吹き抜けが多く空調効率が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポット空調等の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ZEB化に対する補助制度</li> </ul>
・電光掲示板が夜間でもついている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報に絞って表示する</li> <li>・一か所にまとめて表示する</li> <li>・明るさ調整、時間帯によって消灯する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP等への情報掲載の促進</li> </ul>

## グループワークの結果

### <基本方向 第5節>活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）

- 人物像と議題**
- ・設定：農業従事者（男性/50歳）とサービス業従事者（女性/50歳）
  - ・議題：それぞれの平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
・作業場の電気をつけたままにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめに消灯する</li> <li>・暗い時間の作業を減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明にたよらない設計を支援・補助</li> <li>・節電量に応じたキャンペーンの実施</li> <li>・LED照明購入費用の補助</li> </ul>
・化学肥料を多く使う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堆肥を積極的に使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堆肥を活用するネットワークづくり</li> <li>・有機農業のPR支援</li> </ul>
・農業廃棄物を燃やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別を徹底する</li> <li>・ゴミの再利用 or 適切な処分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処分費用について補助金</li> <li>・農業廃棄物のリサイクルの仕組みの整備</li> <li>・行政が主体となる定期的な回収作業</li> <li>・違法な廃棄の取り締まりを強化、罰則を強化</li> </ul>
・食品等の過剰生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の統計を取ることで、生産量や仕入れを調整する</li> <li>・食品の加工方法の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物等の買取（フードロス支援）</li> <li>・出荷調整しなくても安定した収入がえられるような農家への支援（農業の高収益化）</li> </ul>

## グループワークの結果

### <基本方向 第6節>市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う（自治体経営）

- 人物像と議題**
- ・設定：自分が所属する部署の部長
  - ・議題：部内の職員の業務のどのような場面でCO2を排出しているとみているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
・ゴミの分別ができていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい分別の案内をする</li> <li>・モラルの改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手間がかからず、ムリなくできる方法を検討する</li> </ul>
・会議で紙を使う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にペーパーレスや減らす方法を考え意識する</li> <li>・作成資料を見やすく簡潔に作る</li> <li>・白黒でも見やすい資料作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロゴチャット等のシステムを活用する</li> <li>・タブレット端末などの導入</li> <li>・ICT導入のための専門相談窓口の設置</li> <li>・リモートワークの推進</li> </ul>
・部の残業が多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善を図る</li> <li>・職員のスキルアップに取り組む</li> <li>・業務分担・役割を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの活用の推進</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスを考えた適正な職員の配置</li> <li>・業務の外部委託の検討</li> </ul>



## 当日の様子

